



細江カトリック教会だより

10月号

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

死者の月

季節の変わり目として、葉っぱの色も変わり、涼しくなりました。そしてカトリック教会の典礼暦では10月は「ロザリオの聖母の月」であり、11月は「死者の月」となっております。今回は死者のことについてお話ししようと思います。

さて、11月では「死者の月」として、亡くなったすべてのキリスト者を記念します。私たちは亡くなった親戚のことを思い出し、彼らの為に祈りをささげる月とします。キリスト者の間では2世紀頃から死者のための祈りを唱える習慣が生まれ、まもなくミサを伴うようになりました。亡くなったすべてのキリスト者を1年の特定の日々に記念することは、7世紀初めにセビーリヤの司教イシドルスが、聖霊降臨の祝日の翌日に死者を記念するミサを行なうように指示したことに始まるとされています。特に、ローマ・カトリック教会では、毎年11月2日が「死者の日」と定められ、すべての死者のためにミサが捧げられます。

実は、死者のために祈りをささげることは旧約聖書から始まります。マカバイ記下に「死者のために祈るということは、余計なことであり、愚かしい行為であったろう。だが彼は、敬虔な心を抱いて眠りについた人々のために備えられているすばらしい恵みに目を留めていた。その思いはまことに宗教的、かつ敬虔なものであった。そういうわけで、彼は死者が罪から解かれるよう彼らのために贖いのいけにえを献げたのである。」(マカバイ記下 12:44-46)と示された。したがって、教会はキリスト教の初期の時代から、死者の記念を深い敬

愛の心をもって尊び、死者のための祈願をもささげてきました。

聖人以外亡くなったすべての人はすぐ聖なる神と交わり、そして天使たちと聖人の方々と一緒にいるようになったわけではありませぬ。神は慈しみ深い父である方ですが、人々の悔い改めを望んでおられます。私たちは故人が天国に入るために、その霊魂があらゆる罪の汚れから清められ、神のみもとで永遠の幸福にあずかることができるように祈ります。それをするによって死者を助けるだけでなく、死者が私たちのために執り成しをしてくださることを信じるゆえに、教会はキリスト教の初期時代から、死者の記念を深い敬愛の心をもって尊び、死者のための祈願をもささげてきました。死者の為に捧げることは自分自身のためにもなります。そして祈りを通して他者を愛することが現れているのです。

そういう意味で、今年亡くなられた細江教会の信者の方々を思い出しましょう。

ディン神父



細江教会

- ステファノ山中好行
- ペトロ中元雅之助
- ミカエル大水紀
- マリア川上美代子
- ペトロ牧山伊助
- ルドビコ浜上敏夫
- メチルジス前田京子
- マリア山田シズ子
- パウロ深堀敏
- ヨセフ丸尾勇

(2021年1月～10月 帰天された方)

社会教説 10/3 (日)



*2021年9月19日 教会敬老の日に…

一緒に撮れなかった方々、ごめんなさい。

敬老の日のつ・ぶ・や・き

敬老の日の雑感

9月20日の敬老の日の前に教会よりメッセージをいただき、1942年生まれの小生も教会の敬老会に出席させていただける年齢になり、無事ここまでこれたのも両親はもとより、主のご加護に深く感謝し、諸先輩方のご長寿 心よりお祝い申し上げます。

もう既に社会的には後期高齢者保険証や免許更新時の認知症講習等、十分に老齢を認知させられているのですが、やはり老齢化していく現実に一抔の不安があるのは隠せません。身体的な衰えを実感した時などこれから身に降るであろう種々の病いや認知介護など老いには老いの不安や悩みが頭をもたげてきます。敬老の日というのは何だろうと自問するのですが答えが出ません。心身共に健康で90歳100歳を迎えられるとなれば話しは別ですが。今はまだ自分なりに不安や悩みを抱えつつ、家族や回りの方々へ迷惑かけずに生活していくことを心掛けることで精一杯です。

小生にとっての敬老の日とは全てに感謝の気持ちを捧げる日となり、自分に対して叱咤激励する日になるようにと思っています。

今年もまた河島英五のCD「酒と泪と男と女」を聴きながらゆっくりと一献かたむけ、来年以降ずっと続くことを願ってやみません。

大住 昭夫



中井淳神父さまの社会教説は、イグナチオの霊操から「自分の心を見つめる」というものでした。

識別のお話の中で「神さまがどっちに行けばいいのかわか、呼んでくれているのかと、選んでいくことなんですが、みんな失敗をしながら選んでいく、学んでいくのではないかと。そうなんですね。じっと耳を澄ませて、神さまの声を聴き、応え、それが嫌だと反抗しながら、訴える。日々の中でその繰り返しかもしれない私に、大きな愛で包んでくださる大きな神さまがいるのです。

そのお話の中で、落ち込んだ時は・・・百瀬神父さまに教えてくださったことばを紹介してくださいました。

『おちこんだ時は、おいしいものを食べて、お風呂に入って、ぐっすりねむること、友達に聞いてもらうこと、神の前で泣くこと』



神さまからくる「心の動き」、神さまから離れようとする「心のすさみ」決心が砕かれて別の方向にいつてしまうという、良い霊のしるしと悪い霊のしるしの見分けが、今生きている生活の中で社会の中で、大切なことだと感じました。もう一度、ゆっくりとお話を聴き、元気に生きていく上で指針としたいと思います。少し遅くなったのですが・・・。(K)

代表者会議「多文化共生」分科会について

広島教区は今年11月に開催される「教区代表者会議」に向かって準備が行われています。ここで具体的な提言案が作成されました。五つの分科会テーマ（福音宣教、平和、多文化共生、協働、養成）に関連して、各小教区共同体において分かち合いを行い、意見の収集を行うことになっておりましたが、コロナ禍で教会活動が十分に行えません。

そこで、内容について一部、ご紹介いたしますのでご協力ください。

テーマ「多文化共生」

標語 言葉や文化の違いを受け入れ、

互いに理解し、協力しよう。

- ・全ての外国籍信徒との交流や共生はどうか
- ・急増する滞日ベトナム人の方との関わり

上記のことについての宣教司牧の現状や問題と課題と提言等々さまざまな意見を集約することです。

つきましては皆様の忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。よろしくお祈りします。

代表者会議 代議員 近藤

天使幼稚園より



10月9日（土）
天使幼稚園の運動会が行われました。

10月とは思えない、真夏のような太陽の下、園児たちは日頃の練習の成果を発揮できたことでしょう。新型コロナの影響で、今年も一学年ずつの開催となり、少しずつ時間をずらして保護者の受付も行われたため、私たち事務は教会の駐車場から運動場の園児や先生方にエールを送りました。

他の学年に兄弟がいない子は、自分たちの演技が終わったら帰らなければなりません。本来なら、一つ上や二つ上のお兄さんお姉さんの演技を見て、来年は自分があれをするんだと憧れを抱いたり目標にしたりできるのに、

とても残念です。来年はまだどうなるかわかりませんが、みんなで応援し合える運動会ができる日が待ち遠しいです。



松谷 奈穂

ベトナム青年の紹介

皆さん、こんにちは。ティエンと申します。27歳、ベトナムの南部から来ました。安成工務店の店員として日本に来て、現場監督で就労しています。

来日前に、カトリック教会がないか、ベトナム共同体がないかとの心配があり、ネットで調べました。おかげさまで、素晴らしいカトリック教会がありました。あの時はかなり安心しました。

細江教会でベトナム人のみならず、日本人の友達がたくさんできて嬉しかったです。

苦労した週間が終わってから、教会へ行って侍者をしたり、お祈り



したり、友達と話します。教会の日本人も優しく親切です。コロナ禍のせいで、私たちが日常生活が困ったときに、よく助けてもらいました。

異文化、言葉の違いなどで生活することは簡単ではないけれど、教会友達のおかげで、日本にいた時期がよい記念になるでしょう。

誠にありがとうございます。

*いつも教会で侍者をしてくださる長身のティエンさん、今はベトナム細江のリーダーです。皆さま、よろしくお願いします。(こ)

地区だより IV

先の教会便りに、作道神父様がお示しになったように、先月19日より公開ミサが再開

されて、本当に喜ばしい事です、此の所感染者数が減少傾向にあるとはいえ、第6波への懸念は未だ拭えません。これまで自宅でする祈りは、時に散漫になりがちで、使徒信条に“一聖なる普遍の教会、聖徒の交わり”とあるように、ミサに与り、ご聖体を戴き、神父様や共同体の方々との分かち合いが、信徒にとって如何に有難く大切な事かを、今更ながら痛感いたしました。

もう20年以上前になりますが、当時は年に4、5度は、教会の小部屋や各家庭で地区会を開き、担当の神父様にもお障りのない限り、同席して頂きました。家庭での地区会では、同時におミサをお願いした事もあり、ミサ後の会食や分かち合いで、共同体としての親睦を深め、霊的に有意義な時を共有したことを、近頃なつかしく思い返しております。

文明や科学の進歩が著しい現代では、私のような昔人間にとって、戸惑い多く生きづらさを感じます。この節よく耳にする、多様性とか平等とか、性差の問題など、根本の理解に疎い私には、正否の判断はつきかねますが、キリスト者のはしくれである老体でも、区別と差別が混同されたり、責任を伴わない自由が是認される風潮には、肯定し難いものがあります。どうか時代を担う若い人達が、その時々の風潮に軽率に迎合して、神の領域を侵したり、み旨をみだしたりすることのないようにと、心より念じてやみません。

私も年を重ねるにつれ、人様に助けられたりご厚意に甘える事が多くなりました。家族のいない私にとって、周りの方々の温かいお心づかいは、身にしみて嬉しく有難く感じます。私共の聖父である神父様方、共同体の皆さま、未来ある若い方々のために、感謝を込めてお祈り致します。皆様の上に、神のご加護と聖霊のお恵みが豊かに注がれますように。



感謝と祈りのうちに・・・

山の田地区 森 正子

悲しいお知らせ

わたしが福音を告げ知らせても、それはわたしの誇りにはなりません。そうせずにはいられないことだからです。

—コリント9-16



三浦功神父さまが、10月11日(月)肺炎のためロヨラハウスで帰天されました

90歳、イエズス会生活64年。

葬儀・告別式は10月14日(木)13:30

聖イグナチオ教会聖堂にて執り行われました。

また新しい出発の時。天の国で永遠の安らぎに憩われますように・・・

† 帰天 (2021年10月)

・10/17 ヨセフ 丸尾 勇さま (84歳)

大切なお知らせ

*10月24日からミサは自由参加となります。しかし、コロナ感染症拡大防止のために、聖堂とホールでの人数分けが必要です。典礼当番地区のグループは聖堂、他のグループはホールでの参加となります。ご聖体は聖体奉仕者がホールまで届けてくださいますのでご安心ください。

*教会建替え積立献金にご協力くださり、感謝いたします。建替えはスムーズに事が運んでおりませんが、神さまの大いなる計らいで早く実現できますよう 皆さま お祈りください。
信徒代表

編集後記

・コロナ禍で、生活が困窮している外国人留学生や就労者への物資等の支援と、労働教育センターでは子ども食堂や宅配 Car の導入を取り入れています。相談受付中・・・細江教会のデイン神父、労働教育センター中井神父、総務(近藤)までご連絡ください。

広報委員